

様式 2

平成23年度 安曇野市食育推進会議（第1回）会議概要

1	審議会名	安曇野市食育推進会議（第1回）
2	日 時	平成23年6月20日 午後1時30分から午後3時00分まで
3	会 場	穂高健康支援センター
4	出席者	本郷会長、等々力副会長、中田委員、高橋委員、 阿部委員、瀧澤委員、小池委員、高橋委員、小野委員 豊田委員、南沢委員、本郷委員
5	市側出席者	場々健康推進課長、奥村課長補佐、久保田保健師、青柳管理栄養士、 小穴係長、丸山係長、笠井歯科衛生士、牧瀬管理栄養士、小川管理栄養士、 教育委員会学校給食課：白澤係長
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成22年6月30日
協 議 事 項 等		
1	会議の概要	<p>(1) 開 会</p> <p>(2) 委嘱書交付（補欠委員）</p> <p>(3) 役員改選</p> <p>(4) 会長あいさつ</p> <p>(5) 自己紹介</p> <p>協議事項</p> <p>① 平成22・23年度食育推進事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安曇野市食育シンポジウム ・「たべたくん」をたべちゃう！レシピ募集について <p>② 安曇野市食育推進計画中間評価について</p> <p>③ その他</p> <p>(4) 閉会</p>
2	審議概要	<p>① 平成22・23年度食育推進事業について</p> <p>(会 長) それでは、平成22・23年度食育推進事業、安曇野市食育シンポジウム・「たべたくん」をたべちゃう！レシピ募集について事務局より説明をお願いします。</p> <p>(事務局) 平成22・23年度食育推進事業、安曇野市食育シンポジウム・「たべたくん」をたべちゃう！レシピ募集についての説明</p> <p>(会 長) 食育推進事業について説明がありましたが、何かご意見ご質問ありましたら、お出してください。</p> <p>(委 員) 歯科医師会では、毎年いい歯の日」にちなんで、11月にイベントを開催しています。今年度は会場が穂高健康支援センターで11月5日に実施予定です。食育関係の展示とかお借りするのには、どこに問い合わせをすれば良いですか？</p> <p>(事務局) 食育推進委員会事務局までお願いします。</p> <p>(会 長) 新しい事業もたくさん計画されているが、10月の安曇野環境フェアの参加は素晴らしい事だと思うが、県民運動として実施している事ですか。</p> <p>(事務局) 環境フェアは、市が取り組んでいます。県の食べ残しの県民運動など食育に関係しますので、参加する事となりました。県で推進する運動を市としても取り組んでいます。</p> <p>(委 員) 食育の方向性が地産地消・食べ残しの問題・朝食をしっかりと食べて体を作ろうと言うような方向で、それはそれで良いと思うが、科学的に例えば塩分量・カロリー摂取量とかそういう事に取り組むのは、この協議会の主旨ではないのですか。</p> <p>(事務局) 食育の推進を健康推進課の立場で、実施していくのかは明確になっていない状態です。教育委員会で子どもたちの食を育てていくのか、農政課の方で農業とし食を育てていく方が良いのか方向性は、定まっていません。毎年委員さんたちより、よい知恵をいただきながら、良い方向性を見い出したい。</p> <p>(委 員) 学校医として、小中学校の児童・生徒の体格が良くなり、肥満の子が増えてきている気がする。養護教諭による、保健事業統計では全国平均と同じか、下回っているが、ここ1,2年様子が違う気がする。小中学校頃から、肥満にならない予防が必要ではないか。食育で良い物を作って食べさせるという方向性も良いが、子どもの頃からメタボにならない注意も必要ではないかと思う。</p>

- (会 長) 私も勉強中だが、本(青少年の健康教育プログラム)にもあるように、生活習慣病になりやすい食習慣・なりにくい食習慣があります。さらに、肥満度だけに注目するのではなく、腹腔内脂肪について考えて生活習慣病を予防する事が大切です。
- (委 員) 7月16日のシンポジウム、10月8・9日の環境フェアへの参加とありますが、委員はどうすれば良いですか。
- (事務局) 実務的な事は、事務局で対応いたしますので、委員として参加をお願いしたい。
- (委 員) 塩分は、大切な事だと思う。飲食に携わっている者として、良い味付けは大切だ、塩辛いのは血圧にも良くないし、肥満と関係があると聞きました。塩分の取り方を是非食育の中に入れて欲しい。飲食の仕事をしていると、味見などでつい摂取量が増えて肥満になりやすい。特に一流の料理人には、そんな傾向がみられ、健康の自己管理と言う事で、食育に入るのはないかと思う。
- (事務局) 県の食育推進のテーマに今年度塩分摂取についてが入っていますので、今年度は、広報等で周知したいと考えています。
- (委 員) 昨年実施の栄養調査では、1日塩分摂取量は11.2g位でした。20年前に長野県が全国で脳卒中の死亡率が3本の指に入っていた頃、県民減塩運動に取り組んでいた時の塩分は、1日1人15.9gでした。その頃に比べると随分減りましたが、まだまだ多いです。昔は漬物・みそ汁からの塩分が多かったです。現在は全体の味付けが濃くなったことや、外食の機会が増えた事があげられます。また、塩気が多くて美味しお店もありますが、お店の味を薄味にしようとする運動も始まっています。また、県では「三つの星レストラン事業」として、地産地消の食材の使用・食事バランスが良い・薄味などを確認した上で「三つの星レストラン」としてお店を認定しております。安曇野市にも1・2軒あると思います。
- (会 長) 高血圧の治療の中で、最近が良い薬も出ていますが、薬を使う前に塩分や生活習慣に気をつける事が大切で、是非率先してやって欲しい。
- ② 安曇野市食育推進計画中間評価について
- (会 長) それでは、次に(2)安曇野市食育推進計画中間評価について事務局説明をお願いします。
- (事務局) (2)安曇野市食育推進計画中間評価について事務局説明
- (委 員) 食事バランスガイドは、現場ではどの位使用していますか。
- (事務局) 課としては、一般的な食事のバランスについて話をするときや、両親学級で使用しています。食生活改善推進協議会では、一般住民向けに活用しています。
- (委 員) 目標値を見ますと、食事バランスガイド等を参考にしている人の割合が、60%となっていますが
- (事務局) 今後も周知を続けていきます。歯科節目健診時には、バランスガイドを使用した栄養調査を実施し、結果を本人に返却しています。
- ③その他
- (会 長) それでは、その他にうつりたいと思いますが、事務局から何かありますか。
- (事務局) 講演会のお知らせです。7月2日(土)午後1時30分～信州大学で第3回「青少年のメタボリック症候群を考える」市民公開講座が開催されます。会長でもあります、本郷先生の講演もありますのでみなさんの参加をお願いします。
- (会 長) 松本大学のスポーツ栄養の先生の講演や、特定保健用食品についての先生の講演もありますのでみなさん参加してください。それでは、本日の予定しておりました協議事項は、すべて終了いたしました、ありがとうございました。

※会議概要は、原則として公開します。会議終了後、2週間以内に企画財政部まちづくり推進課へ提出してください。

※会議を非公開又は一部非公開とした場合は、その理由を記載してください。